

九州と
北九州市
協意見交換
建コン

最低制限対象拡大を

ベテラン技術者も表彰へ

（二社）建設コンサル
タンス協会九州支部（福
山泰治支部長）は26日、
北九州市と意見交換会

写真を開き、魅力ある建設コンサルタント業界の環境整備に係る諸課題について意見を交わした。各意見交換のテーマのうち建コン協は、同市が最低制限価格制度から除外している「工事に関わらない調査・設計業務」について、その対象に加えることを提案。これに対して同市は、国が現在進めている最低制限価格の設定等に係る調査の結果を踏まえ、対応を検討していきたい等と回答した。

26日の北九州市との意見交換会には、建コン協九州支部から福山支部長（西日本技術開発）や米徳洋平副支部長（福山コンサルタント）のほか、支部理事や地元会員らが出席。市側は技術監理局の尊田利文局長や同局の関係課長らが対応した。冒頭、福山支部長は『若手・女性技術者表彰』や『建設産業の魅力を伝

えるポータルサイト』などの同市の取り組みに感謝の意を表すとともに、『私たちも担い手確保・育成に向けて、これまでに以上に職場環境の改善や働き方改革、生産性向上等の取り組みを進めていきたいと考えている』などとおあいさし。



確保等に係る施策を進めていく考えを示した。意見交換のテーマは、北九州市への個別提案である▽工事発注に伴う工事見積徴収依頼の改善▽「工事に関わらない調査・設計等の委託業務」の最低制限の設定一等に係る内容のほか、各県共通の「担い手確保・育成のための環境整備」「技術力による選定」等の項目について。

同市への個別提案のうち「最低制限価格」では、橋梁点検をはじめ、その後の工事に直結しない地質調査、測量業務等の「工事に関わらない委託業務」について、同市が最低制限価格制度の対象としていないことに対し、建コン協が担い手や品質の確保等の観点からも調査・設計業務全般を対象とするよう要望した。

同市はこれに対して、建設関連を含め全ての業務を対象に現在、国により最低制限価格の設定に係る調査が進められて

いることを報告。この調査結果を踏まえて、同市が現行除外している「工事に関わらない委託業務」についても、最低制限価格の対象に加えるか、否かについて判断していきたい等とした。各県共通の「担い手確保等」に係るテーマでは、同市が女性・若手技術者表彰に加え、来年度から若手技術者等を指導するベテラン技術者部門も創設することを報告。同じく「担い手確保」に係るテーマでは、建コン協が同市のウィークリースタンスの取り組みについて質問。これに対して同市は、現行で500万円以上の業務で取り組みを進めている一と、昨年度は対象となつた55件の全ての案件で運用を図ったことを説明した。